

北蔵王 雁戸山・仙台神室山

ものすごい強風に撤退

福D

十月六日、七日、KTさんリ
ーダーで北蔵王の山、雁戸山、
仙台神室を目指し、原塚車
に乗り、出発。この日の参加
者は克己さん、原塚さん、

るほどの寒さ。この峠は奥州
街道と羽州街道を結ぶ脇街道
として昔から人馬の往来の盛
んだった所。標高が九百六m
見晴らし抜群。強い北風に大
急ぎで着込む。

世さん、福D二名です。テ
ント泊は一年ぶり。持ち物は
「えー？」とちよつと頭をか
しげてしまった。世さんも
同じことを言っていた。

さて、気になる天気、台風
一八号がやつと過ぎ去って
くれたが、天気予報によれば、
北国は冬型、というニュース
に予想はしていたが、登山口
となる「笹谷峠」に着くと、
北風ビュウビュウ、震えあが

最初は雁戸山へ、出発。高
圧電線の下を二本くぐる。高
圧線の強風にあおられる音が
「グリーン、グリーン」と唸っ
ている。カケスガ峰までは樹
林帯、足場も悪く、下手する
と、ツルンしそうで、ゆっく
り登る。時々振り返ると明日
登る紅葉した神室岳が良く見
えている。我々が今挑戦して
いる雁戸山は全く姿を見せない。
この樹林帯にもう飽き飽
き、強い風だけが当たらない

のがせめてもの慰め。前が明
るくなつて木々がなくなつた
途端、ものすごい強風、息が
できない、苦しい、窒息しそ
うで思わず「苦しい！」と叫
んでしまった。全く霧の中、
うっすらと何やらコンクリー
トの建物が見えた。どうやら、
避難小屋らしいが、ボロっち
い。ここが、カケスガ峰。強
風と寒さで小屋に飛び込む。
中は散らかって焦げた臭い。
火を燃やした跡がある。さて、
これから、我々が進むべき方
向は全く霧の中、こんなに強
風が吹いてるのに、全く前が
見えない。全員撤退。来た道
を戻ることになった。

帰りも同じ道なので、すつ
てんころりんならないように、
慎重に下山する。滑りそうな
所では後ろ向きになるといい、
先頭を歩く原塚さんを見て、

真似をする。

やがて、高圧電線鉄塔が見
えて駐車場に着いたが、まず
まず、風が強くなり、テント
を上げる場所を捜した。少し、
風の当たらない場所を見つけ、
車を異動させ、車を風よけの
壁にして、テントを設営。風
が強くなかなか上げられない。
テントと一緒に飛んでしまい
そう。大急ぎで、我々の荷物
をテントの中に投げ込む。そ
れでも、吹き飛ばされそう。
テントを固定させるために



「ペグ」というものを出してきた。「ペグ」打ち込む為に利光は杭を拾ってきたが、木製の為、「ペグ」をたたくと杭の方に穴があいてしまった。克己さんがどこからか大きな石を拾ってきてとんかちにして、打ち込む。ひもは車の車体の一部にくくりつけ飛ばないようにした。少し風もおさまったようにホッとした。

五人で早い夕食。「鳥鍋」を囲み、少々ビールとウイスキーと焼酎で乾杯。翌朝早くに出発ということで「おやすみなさい」でも、私は風が気になって眠れない。隣りはいびきも聞こえ、いいなあー。

深夜、「ゴウゴウー」という風の音、「グリーン、グリーン」高圧電線の音が不気味、テントのバタバタ、グラグラ揺れる音。瞬間風速何十mかな？車を風避けにしているが、車が

我々の頭に覆いかぶさってきたらどうしよう、皆はよく眠れるものだ。「早く夜が明けてほしい」と神に祈る。突然、世々さんががばつと起きて「撤収しよう。車が倒れてきたら、大変」と、寝袋をたたき、荷物を車に積み込み、最後にテントを持っていかれないように、人間の体を重石にしていたため、車に積み込み、その場から逃げた。

下へ行つてから、「どこか」へ、相談した結果、「吾妻小富士・浄土平へ行こう」と、いうことで磐梯吾妻スカイラインへ車を走らす。やっと夜が明けた。

スカイラインは七時から開ける。もう、すでに一台止まって並んでいた。我々は二台目。門が開くまで車の荷物整理と朝食。とにかく、強風の中、荷物を車に投げ込んだの



で、道路いっぱい荷物を広げ、お片づけ。七時近くになると、次から次へと車が並びだした。大急ぎで、すべての荷物を片づけ、車に乗り込む。ちょうど、七時。手際のよいお片づけにびっくり。感心してしまふ。

車はドンドン高度を上げていく。それからは、全く見たこともないスケールの大きさにただただ目を見張るばかり。こちらは紅葉が進み、赤や

黄色、今年初めての紅葉が私の目の前に広がった。

「吾妻小富士」に登ると、またまた、あの北風ビュウビュウ。吹き飛ばされそうで、立ってられない。ここも、撤退。その後、浄土平へ。「大穴火口」から不気味な水蒸気をあげている。危険物を横目に見ながら、素晴らしい紅葉の景色を楽しみ、「鎌沼」まで登り一切経山がよく見える場所まで行き、昼食にした。とても、癒しの風景でゆっくり寛いだ。

久しぶりのお泊り山行で出かけるのに勇気がいったが、来てよかった。と、思いました。私はもちろん初めて来た山ですが、世々さん以外は皆さん初めてと聞きびっくりしました。また、一つ、お気に入りの山がふえました。